

# EDシーラー Plus 塗装マニュアル

作成	2019年 1月28日
改定	年 月 日

## ★ 使用方法 ★

### 【調合比】

主剤	EDシーラー Plus (ホワイト・ブラック)
ハードナー	アクセルマルチハードナー (速乾・標準・遅乾)
調合比	主剤 : ハードナー = 100 : 20 (重量比)
シンナー希釈	50~70% (ハードナー調合塗料に対して)
塗り回数	2~3回塗り (推奨膜厚: 30~40μm/DRY)

推奨シンナー: ウレタンエコブレンダー

### 【塗装手順】

被塗物ケース	電着パーツ			部分補修	
	新品正常品の場合 (基本)	・ダンボール跡 ・塗り肌不良 ・チョーキング劣化 ・ラッカー補修 ・その他異物付着がある場合	・段差 ・クレタリクがある場合	新車塗膜の場合	パテがある場合
1. 下地処理 足付け研磨	不要	P600ペーパー研磨にて異常箇所を除去する	P400ペーパー研磨にて平滑にする	P320ペーパーにて研磨	
2. 脱脂・清掃	エアブローにて粉塵を除去し、ワックスオフにて油分等を脱脂				
3. EDシーラー Plus 塗装	調合後の塗料を上塗り同等のフィルター (目開き100μm以下) でろ過  EDシーラー Plus を2~3回塗装 (塗装仕様は下記参照)  塗装状態によって最終仕上がりが左右される場合があります。シーラーの表面がなるべく平滑になるよう、ウェットに塗装してください。			3回以上塗装して下さい (40μm以上塗布してください)。P320ペーパー目はEDシーラー Plus にて埋まりますが、それ以上の荒い目が残っている場合は2液型のウレタンサーフェーサーを推奨します。	
4. セッティング	15分~24時間以内 (20℃) に上塗りを塗装してください。シーラー塗布面にゴミが付着している場合は、15分後にP800ペーパーにて軽く研磨してください。				
5. 上塗り塗装・乾燥・仕上げ	各種車両用上塗り塗料の塗装仕様に準ずる				

#### < 塗装時注意事項 >

可使時間がありますので、調合後すみやかに使用して下さい。

一度の厚塗りは避け、インターバルを取りながら、平滑になるようウェットに塗装して下さい。

### 【EDシーラー Plus 塗装仕様】

スプレーガン PAC530-8 (口径 1.3mm)

ハードナー標準、ウレタンエコブレンダー 20にて60%希釈 (気温 20℃)

	小面積 (フェンダー1枚)	大面積 (ボンネット1枚)
吐出量	5	6
エア圧	0.08~0.10MPa	0.10~0.12MPa
ガン距離	15~20cm	15~20cm
ガン運行速度	60cm/秒	50cm/秒
パターン重ね	4/5	4/5

【ハードナー及びシンナーの気温別選定方法】

・ハードナーの気温設定

	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
速乾	←—————→				
標準			←—————→		
遅乾				←—————→	

・シンナーの気温設定（ウレタンエコブレンダー）

	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
5	←—————→				
10		←—————→			
20			←—————→		
30				←—————→	
40				←—————→	

【適応下地】

無研磨で塗装可能 → 新品電着パーツ

足付け研磨が必要 → 国産車・輸入車防錆鋼板、アルミパネル、新車焼付塗膜、ポリエステルパテ

【適応上塗り】

ハイアートNext、アクアスDRY、アクロベース、ミラノ2K等

【乾燥時間】

	温度条件	時間
可使時間	10℃	3時間
	20℃	2時間
	30℃	1時間
セッティング時間	10℃	20分～24時間
	20℃	15分～24時間
	30℃	12分～24時間

※ シンナー及びハードナーは各温度帯に準じてください。

※ シーラーをエアブロー乾燥した場合は、セッティング時間を短くすることが可能です。

※ シーラーを塗装後、規定時間経過後に上塗り塗装をされる場合は、サンディングが必要です。

【ライトシェード（LS）システムの活用法】 イサムライトシェード塗板に適應しております

LS塗板 No.	EDシーラー Plus ホワイト	EDシーラー Plus ブラック	推奨上塗り塗色系統
LS 0	0	100	黒、黒パール
LS 1	30	70	濃色、ガンメタ
LS 2	50	50	濃色
LS 3	60	40	シルバー、中間色
LS 4	80	20	淡彩色、パステル色
LS 5	90	10	淡彩色
LS 6	100	0	白、黄、白パール

【マルチカラー混合仕様】 内板カラーやカラーサフとしてご使用可能です

主剤100部に対してマルチカラーを30部まで混合可能です。

ハードナーはマルチカラー混合の主剤を100部として20部調合してください。